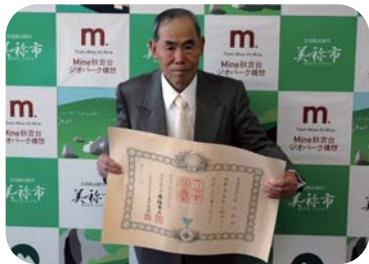


平成26年春の褒章・叙勲受章者

【消防功労】瑞宝単光章 福永 義祐 氏（元美祢市消防団 副分団長）



福永さんは、昭和29年共和村消防団に入団。その後、昭和40年からは美祢市消防団員として39年間、数多くの災害現場で活躍をされました。副分団長を拝命後は消防団活動を円滑に遂行するために尽力され、火災予防思想の普及など多年の経験を遺憾なく発揮され、地域住民に信頼される消防に多大な貢献をされました。

【消防功労】瑞宝単光章 長峯 章一郎 氏（元美東町消防団 分団長）



長峯さんは、昭和38年美東町消防団に入団以来、消防団員として39年間、数多くの災害現場で活躍をされました。分団長を拝命後は、消防の使命達成のため、消防水利の確保、消防施設の拡充強化及び火災予防の普及に力を注ぐなど防火思想の高揚に努められ、積極的に消防の推進に尽力されました。

【中小企業振興功労】旭日単光章 中島 靖子 氏（秋芳町）



中島さんは、昭和48年の旧秋芳町商工会婦人部設立に携わり、平成6年からの県商工会女性部連合会副会長時代には、県内全商工会での女性部設立に尽力されました。現在は県商工会女性部連合会会長に就かれて12年目になられ、平成23年からの2年間は、全国商工会女性部連合会の副会長も務められています。東日本大震災の際には被災地で仮設住宅に暮らす人々に湯たんぽを届けるなど、支援に取り組みました。

【警察功労】瑞宝単光章 矢田 正男 氏（伊佐町）



矢田さんは、昭和37年に山口県警察官を拝命され、以来42年間、勤務の大半を生活安全部門の刑事として活躍されました。その間、本部長表彰15回、門司税関長表彰1回を受章されており、この度長年の功績が認められての受章となりました。

現在は農業の傍ら、地域の各種役員として活躍されています。

【防衛功労】瑞宝双光章 中村 和美 氏（美東町）



中村さんは、昭和46年に海上自衛隊に入隊され、以来35年間中国地方の自衛隊基地（呉、小月、岩国等）で航空機の整備に尽力し、航空安全に寄与されました。在籍期間中には、数多くの賞詞・表彰を受けられ、この度長年の功績が認められての受章となりました。

自衛隊を退職された現在も、民間の航空整備会社に勤務され、航空安全に貢献されています。

表紙の説明

5月1日困から5月9日迄まで、市役所駐車場内にて鯉のぼりが設置されました。

鯉のぼりの設置は、毎年5月1日～31日までの1か月間を児童福祉月間と定め、子どもや子育て家庭を社会全体で支える運動の一環として、平成14年から実施しています。

撮影当日は晴天に恵まれ、雲一つない青空が水のように見え、鯉のぼりが生きているように空で泳いでいました。





病院だより61

美祿市訪問看護ステーションについて

平成21年4月、旧美祿市の訪問看護ステーションみねと旧美祿郡の美秋訪問看護ステーションが合併し、「美祿市訪問看護ステーション」としてみなさんに支えられながら、6年目を迎えることができました。当ステーションは、秋芳総合支所の一角に事務所があります。

美祿市訪問看護ステーションは、6人のスタッフが利用者のご自宅に訪問しています。24時間対応であるため、夜間も必要に応じて訪問をしています。私たちは「目くばり・気くばり・心くばり」で、笑顔と真心をあなたに住み慣れたご自宅での療養生活を支援します」を基本に頑張っています。

この広報をみていただくことで、訪問看護のことを多くの人に知っていただけるきっかけになればと思います。実際にどのようなことを行っているのかを具体的に紹介していきます。

訪問看護の主なサービス内容は、健康状態の観察（病気や障害の状態・血圧・体温・脈拍などのチェック）、療養上のお世話（身体の清拭、洗髪、入浴の介助、食事や排泄の介助、がん末期の人が自宅で過ごせるようお手伝いをする）、在宅でのリハビリ

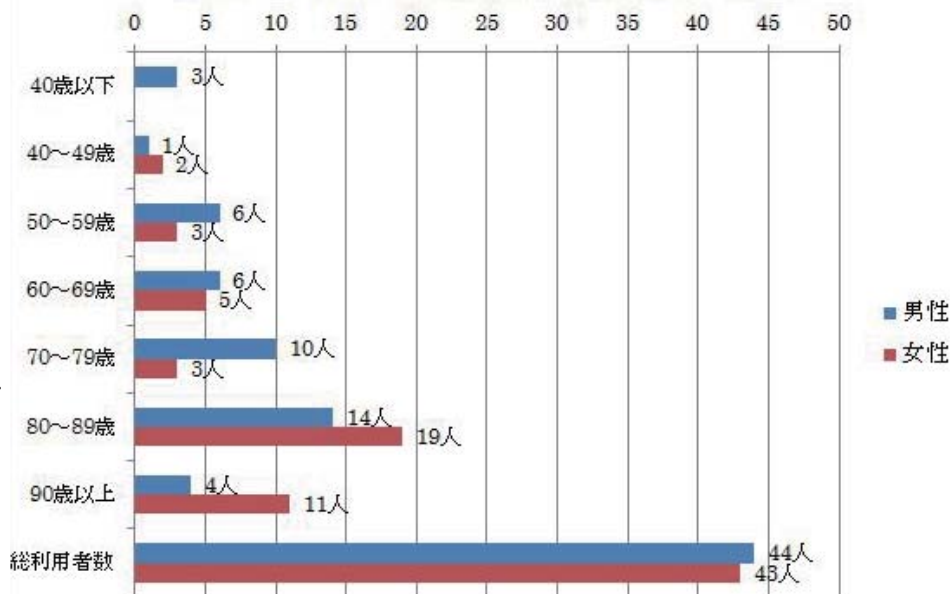
テーション（拘縮（※）予防や機能の回復・飲み込みの機能訓練等）、ご家族への介護支援・相談（介護方法・さまざまな相談対応）、医師の指示による医療の処置（傷の手当て、点滴、チューブ類の管理など）、お薬の管理、医療機器の管理（在宅酸素・人工呼吸器など）、床ずれの予防・処置（床ずれ防止の工夫やアドバイス・手当て）、認知症ケア（事故防止など、認知症介護の相談とアドバイス）、介護予防（低栄養や運動機能低下を防ぐアドバイス）、在

宅改修に関する相談などがあります。

次に訪問看護はどのような人が受けられるのかをご紹介します。疾病、障害をもち療養しながらご自宅で生活をされている人や、病院・施設からご自宅へ帰り過ごされる人、ご本人だけでなく支えているご家族もサポートします。訪問看護を必要とする全ての人を対象とし、赤ちゃんから高齢の人まで利用することができます。

（※）拘縮【こうしゅく】
関節が動かなくなること

平成26年度4月末利用者数(男女別)



現在、高齢化が進む中で病院や施設の利用、介護を必要とする人が増えています。少しでも多くの地域のみなさんが住み慣れたご自宅で安心して過ごせるために私たちは病院や施設、ケアマネージャー、ヘルパー、訪問入浴など様々な機関と協力をして今後も在宅の生活をお手伝いしていきます。ご利用をお待ちしています。



美祿市訪問看護ステーション職員